

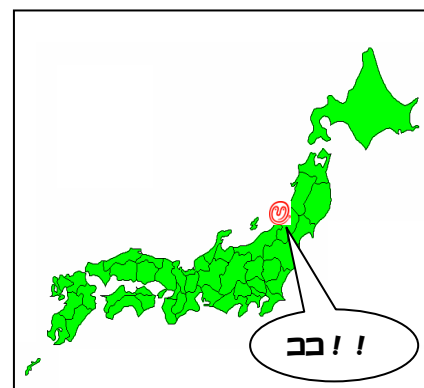
【スポーツゲームズ in 山形】

報告書

開催地（山形県山形市）

<開催要項>

- 名 称 : スポーツゲームズ in 山形
日 時 : 2012年10月7日（日） 9:20~15:00
参加者数 : 278名
会 場 : 山形市総合スポーツセンター
(第1体育館)
主 催 : 山形市、山形市教育委員会、財団法人山形市体育協会
特定非営利活動法人 MIP・スポーツプロジェクト
共 催 : 山形市体育振興会連合会、山形市スポーツ推進委員協議会
山形市健康づくり運動普及推進協議会、山形市食生活改善推進協議会
主 管 : 山形市スポーツフェスタ実行委員会
特別協賛 : 株式会社ゴールドウイン
助成事業 : 公益財団法人 大崎企業スポーツ事業研究助成財団



<講師紹介>



中垣内 祐一 (バレーボール)
元バレーボール日本代表
バルセロナ五輪出場



小椋 久美子 (バドミントン)
元女子バドミントン日本代表
北京五輪出場



原田 裕花 (バスケットボール)
元バスケットボール女子日本代表
アトランタ五輪出場



田中 茂 (ハンドボール / MIP コーディー)
元ハンドボール日本代表
元ハンドボール女子日本代表コーチ

<プログラム>

「チャレンジスポーツラリー」

内 容：子ども達が、経験の有無に関わらず、様々なスポーツをトップアスリート・トップコーチのコーチングの下で体験し、新しいスポーツの楽しさや夢を発見するプログラムです。

時 間：9：50～12：10

参加者数：110名

実施種目：バレーボール・バスケットボール・バドミントン（3種目）

【プログラムの様子】



▲開会式
開会式の様子。



▲準備運動
怪我のないよう、講師の方々と一緒に、参加者全員でしっかりと準備運動を行いました。



▲バレーボール
アンダーレシーブ時の、手の使い方や、基本的なトスの練習等、手の使い方の方に気をつけながら練習していました。



▲ハンドボール
ラケットの持ち方や、シャトルを打つ時にどこに当てるかなど、細かなポイントを伝えながら練習を行っていました。



▲バスケットボール
ドリブル・シュート等の基本的な練習を行っていました。
特に、パスの際のボールの持ち方を気をつけるようにアドバイスされていました。

「MIP親子コーディー」

内 容：プログラムでは、遊びの動きから、運動神経を伸ばすための動きを経験する事と、身体を動かす事の楽しさを親子一緒に体験するプログラムです。

対 象：年中～小学2年生親子

時 間：前半①9：30～10：30 後半②11：00～12：00

参加者数：前半①43組（86名） 後半②41組（82名）



<プログラム>

「エンジョイスports」

内 容：バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ハンドボール、4種目のエリアを設けます。

子どもから年配の方まで、アスリートと触れ合いながらスポーツを楽しめる場を提供します。

時 間：①13：15～14：00 ②14：15～15：00

参加者数：①102名 ②99名 合計：201名

実施種目：バレーボール・バスケットボール・ハンドボール・バドミントン・「4種目」

【プログラムの様子】



▲バレーボール

大人から子どもまで、トス&レシーブの練習をしました。

トスの練習では手を、自分のおでこの前に準備しておく事が、良いトスを上げるポイントと説明しました。



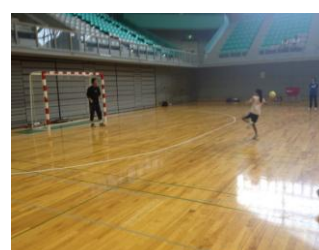
▲バドミントン

経験者別にコートに分け、2人組でラリーの練習をしました。小椋講師は、未経験者のコートで細かくアドバイスをしていました。



▲バスケットボール

ボールを使ったコーディネーショントレーニングでウォーミングアップを行いました。



▲ハンドボール

まずは、ハンドボールの投げ方から練習をしました。

最後は、ドリブルシュートする所まで全員がチャレンジしました。

最後に・・・

「スポーツゲームズ in 山形」では、278名という多くの方に参加して頂く事が出来ました。

大人から子どもまで、スポーツの楽しさや、体を動かす事の素晴らしさを感じて頂ける事が出来たのではないかと思います。スポーツだけではなく「健康・食育・地産地消」等、多くの分野がある事が、たくさんの方の参加に繋がったのではないのでしょうか。

講師の皆様には、大人から子供までレベルの差がある中で、種目事のポイントを丁寧に伝えて頂きまして、本当に有難うございました。個人的にアドバイスを聞きに行くなど、多くの参加者の方と接して頂き、子どもから大人まで、たくさん笑顔の中でイベントを行う事が出来ました。

今回の「スポーツゲームズ in 山形」では、パンフレットにある様に「スポーツを始めるきっかけ作り」という事が、参加者の皆様には、大きく伝わったのではないかと思います。

多くの種目を体験する事で、自分に合ったスポーツを探す事が出来たのではないのでしょうか。

今回体験して頂いた事をきっかけに、スポーツに関心を持ち、スポーツを始めてみて頂ければと思います。

最後に、「スポーツゲームズ in 山形」の開催におきまして、ご担当されました多くの関係者の皆様にご協力を頂きました事を感謝致します。

(担当：仲村 元士)